

令和6年度 2024

総合教育会議

-学力向上対策の現状と課題-

主に小学校

令和6年10月31日

足立区教育委員会 学力定着推進課

学力定着指導員 半田 英雄



足立区学力定着に関する総合調査について

平成17年度(2005)から区内小・中学校で完全実施。

20年間 本年で20回目 エビデンスとしての役割

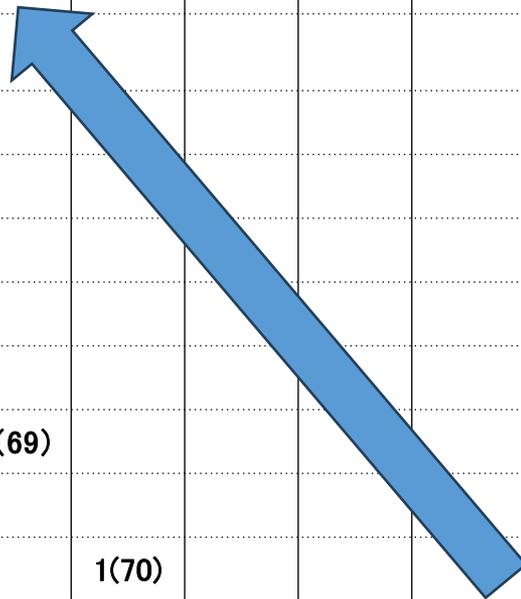
足立区は平均点より通過率重視
ボトムアップ 学力の底上げのため

$$\left[\text{目標値を超えた児童・生徒数} \right] \div \text{受験者数} \\ \times 100 = \text{通過率}$$

足立区学力定着度調査 通過率 小学校 校数

平成23年度
～令和6年度

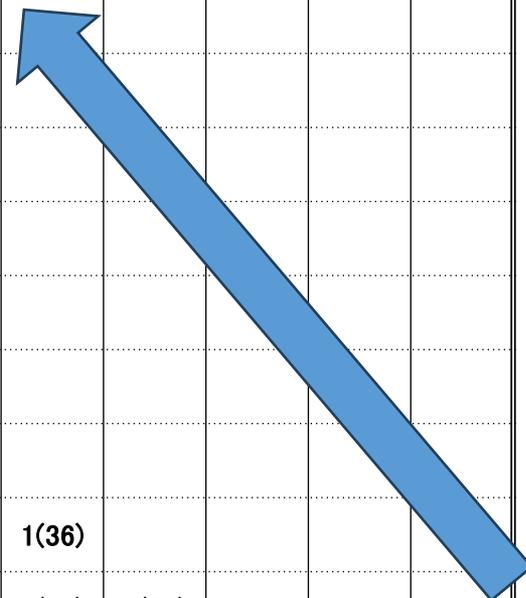
年度	%	95 up	90 up	85 up	80 up	75 up	70 up	65 up	60 up	55 up	50 up	45 up	40 up	35 up	30 up	25 up	20 up
6		1	2	17	31	8	5	1	2								
5		1	6	24	18	12	4	1	1								
4		1	5	18	24	15	3	2									
3			7(7)	19(26)	28(54)	12(66)	3(69)										
2	小学校		4(4)	13(17)	23(40)	11(51)	15(66)	2(68)	1(69)								
1			4(4)	9(13)	24(37)	15(52)	15(67)	2(69)									
30			3(3)	3(6)	27(33)	15(48)	17(65)		1(69)								
29			3(3)	18(21)	25(46)	19(65)	4(69)										
28			1(1)	6(7)	20(27)	17(44)	13(57)	10(67)	1(68)	1(69)							
27				3(3)	15(18)	29(47)	17(64)	5(69)									
26				1(1)	9(10)	26(36)	15(53)	12(65)	4(69)		1(70)						
25					4(4)	14(18)	19(37)	14(51)	13(64)	4(68)	1(69)	1(70)					
24						6	11(17)	11(28)	17(45)	15(60)	10(70)	1(71)					
23						7	11(17)	21(38)	15(53)	9(62)	7(69)	2(71)					



足立区学力定着度調査 中学校通過率

平成25年度～令和6年度

年度	%	～95	～90	～85	～80	～75	～70	～65	～60	～55	～50	～45	～40	～35	～30	～25	～20	
6				1(1)		4(5)	6(11)	9(20)	7(27)	5(32)	2(34)		1(35)					
5					1(1)	2(3)	8(11)	10(21)	5(26)	5(31)	2(33)	2(35)						
4						3(3)	5(8)	9(17)	10(27)	4(31)	4(35)							
3					1(1)	2(3)	9(12)	6(18)	10(28)	5(33)	2(35)							
2	中学校					3(3)	2(5)	9(14)	11(25)	7(32)	2(34)	1(35)						
1						3(3)	3(6)	9(15)	11(26)	3(29)	5(34)	1(35)						
30						1(1)	1(2)		7(13)	10(23)	7(30)	5(35)						
29					1(1)		4(5)	4(9)	9(18)	11(29)	5(34)	1(35)						
28						1(1)	1(2)	2(4)	9(13)	8(21)	8(29)	6(35)	1(36)					
27							1(1)	2(3)	6(9)	5(14)	7(21)	12(33)	1(34)	3(37)				
26								2(2)	2(4)	5(9)	8(17)	8(25)	7(32)	1(33)	4(37)			
25									2	4(6)	3(9)	3(12)	8(20)	9(29)	4(33)	2(35)	1(36)	1(37)



学力向上施策（対策）

- ・ 幼保小交流 5歳児プログラム 平成23年度
- ・ 公立保育園年長児午睡取りやめ 平成23年度
- ・ 足立スタンダード 平成23年度
- ・ 小中連携モデル校 平成23年度
- ・ 足立はばたき塾 平成24年度
- ・ MIMモデル校 平成24年度
- ・ 中1夏季勉強合宿 平成25年度
- ・ 教科指導専門員配置 平成26年度
- ・ そだち指導員の配置 平成26年度
- ・ 秋田県大仙市教員派遣 平成26年度

学力調査 数値向上

貧困の連鎖を断ち切る教育

危機意識 ベクトル マインド パッションをもってスタート
効果ある学力向上施策 相乗効果

効果ある学力向上対策をそれぞれの施策担当者が
真摯に使命感、責任感をもって遂行

学校

校長 副校長 教員

教育委員会

学力定着推進課

-学力向上課題Ⅰ-

数値 低下傾向局面

R6 足立区学力定着に関する総合調査から

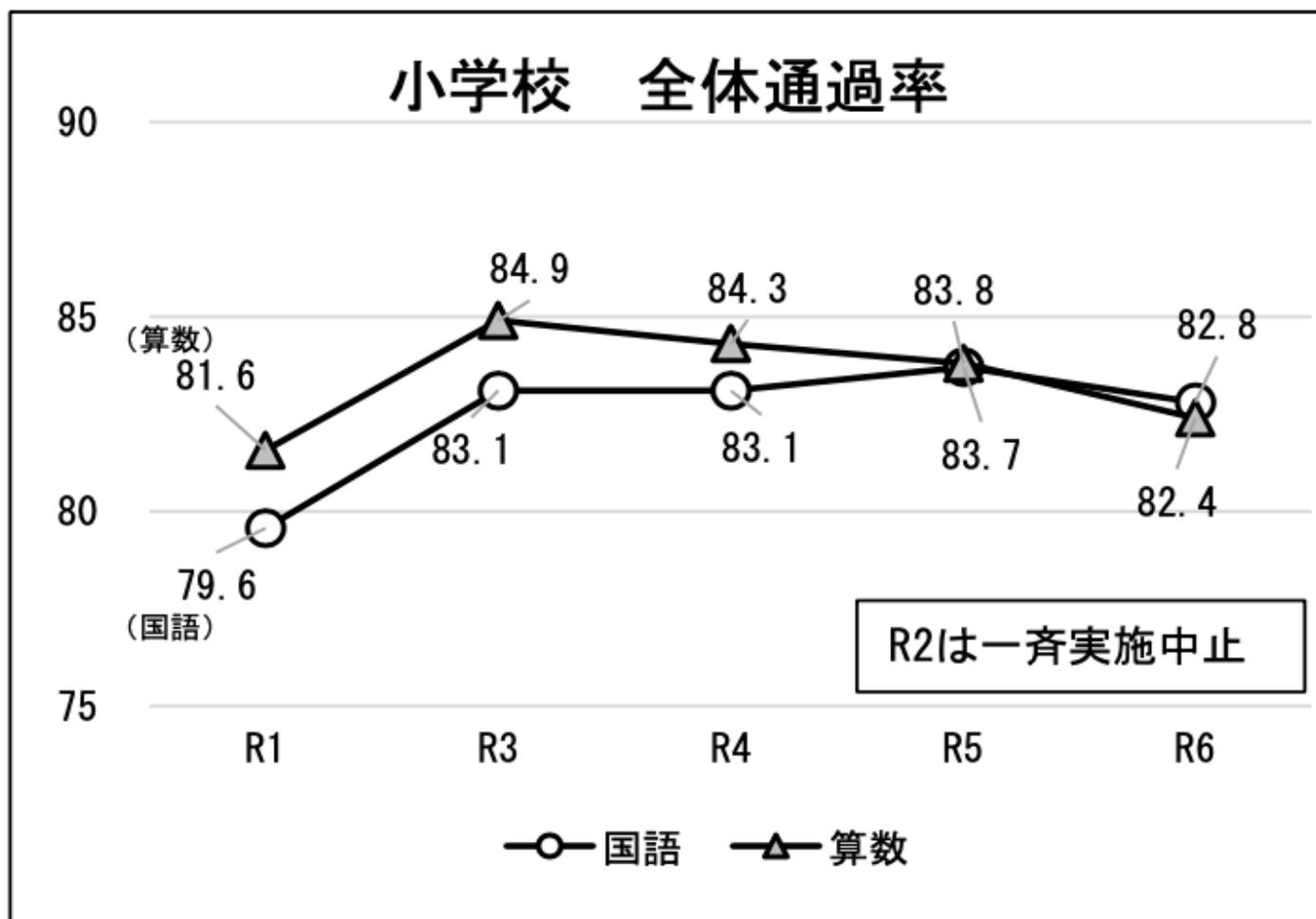
1 結果概要

	小学校	中学校
全体通過率 (※1)	国語 82.8% 算数 82.4%	国語 71.0% 数学 65.8% 英語 64.6%
全体通過率の 増減 (R5との比較)	国語 -0.9ポイント 算数 -1.4ポイント	国語 +0.8ポイント 数学 -1.8ポイント 英語 +1.5ポイント
正答率が 全国値を 上回った 教科・学年	国語・算数 2～6年生 (教科・学年全て)	国語 1～3年生 数学 1・2年生 英語 2年生
全学年・全教科 正答率が全国値 を上回った学校	4割	1割

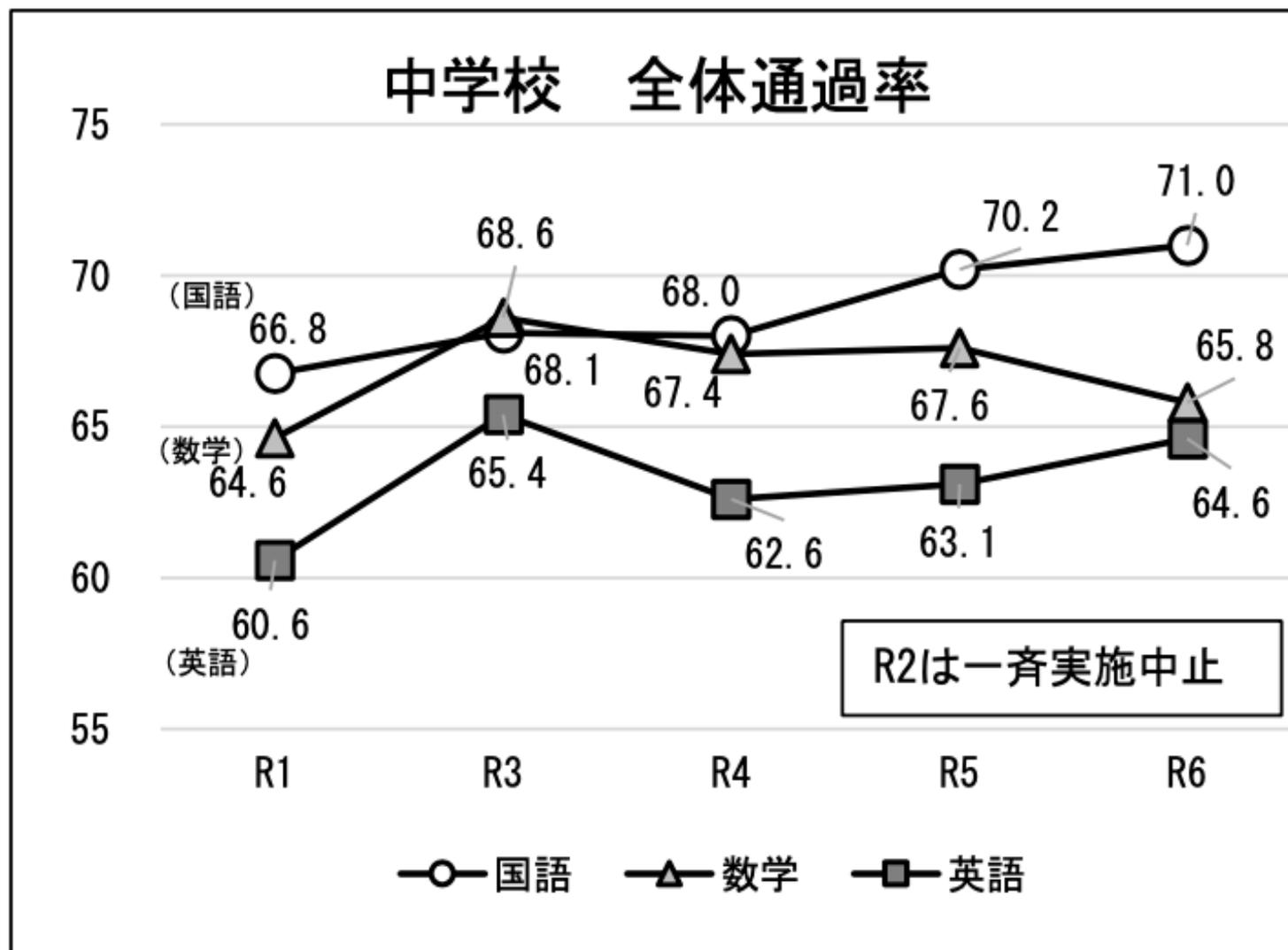
学習定着度調査結果

1) 小・中学校全体の通過率 (単位：%)

ア 小学校



イ 中学校



全国学力状況調査から

小学校6年生 中学校3年生実施

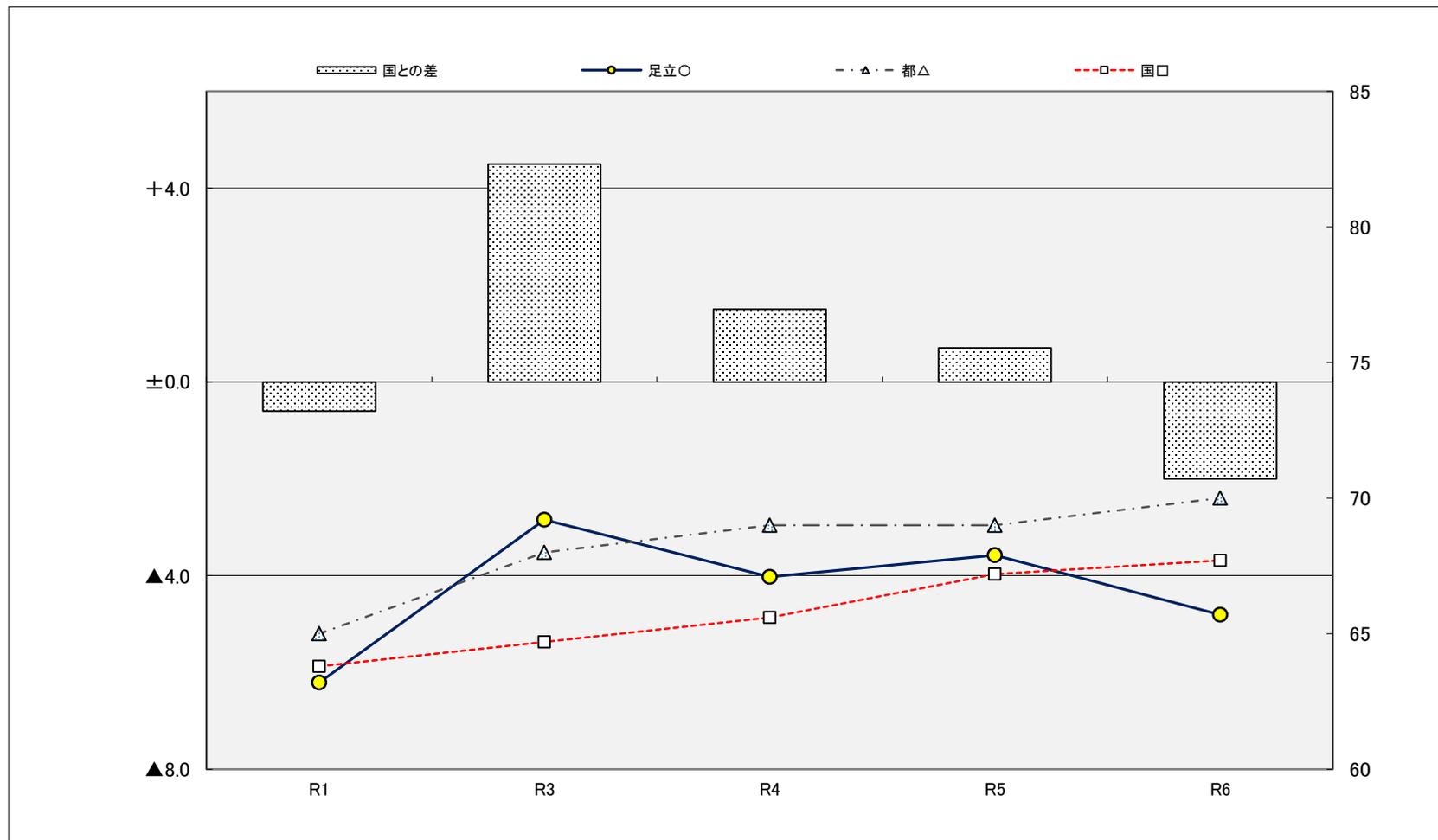
小学校6年生

国語

全国学力調査経年比較
(令和6年4月18日実施)
平均正答率

年度	足立○	都△	国□	都との差
R1	63.2	65	63.8	-1.8
R3	69.2	68	64.7	+1.2
R4	67.1	69	65.6	-1.9
R5	67.9	69	67.2	-1.1
R6	65.7	70	67.7	-4.3

全国学力調査経年比較 国語
 (令和6年4月18日実施)
 棒グラフ 国との差



小学校6年生

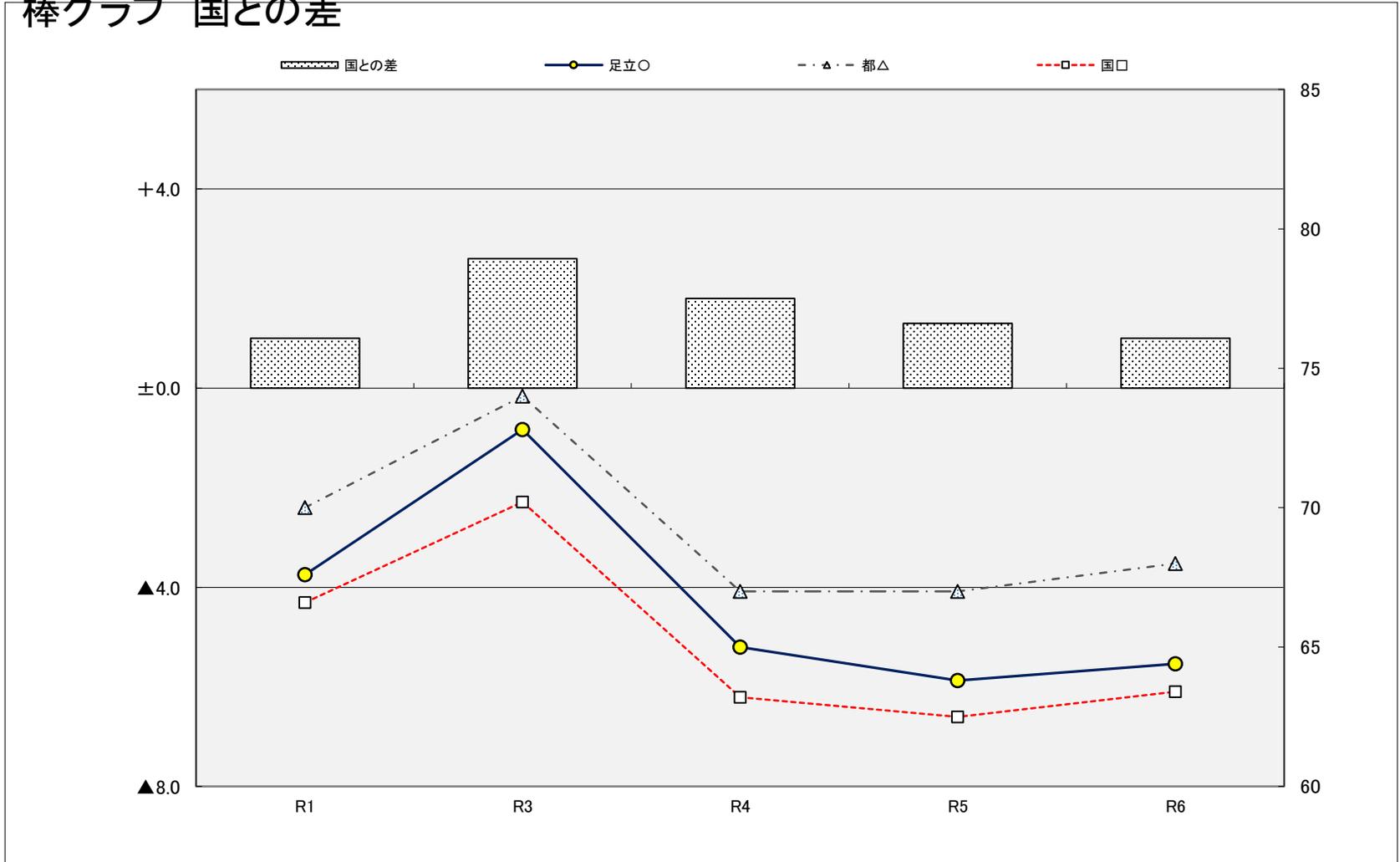
算数

平均正答率 国平均より上

年度	足立○	都△	国□	都との差
R1	67.6	70	66.6	-2.4
R3	72.8	74	70.2	-1.2
R4	65.0	67	63.2	-2.0
R5	63.8	67	62.5	-3.2
R6	64.4	68	63.4	-3.6

全国学力調査経年比較 算数 (令和6年4月18日実施)

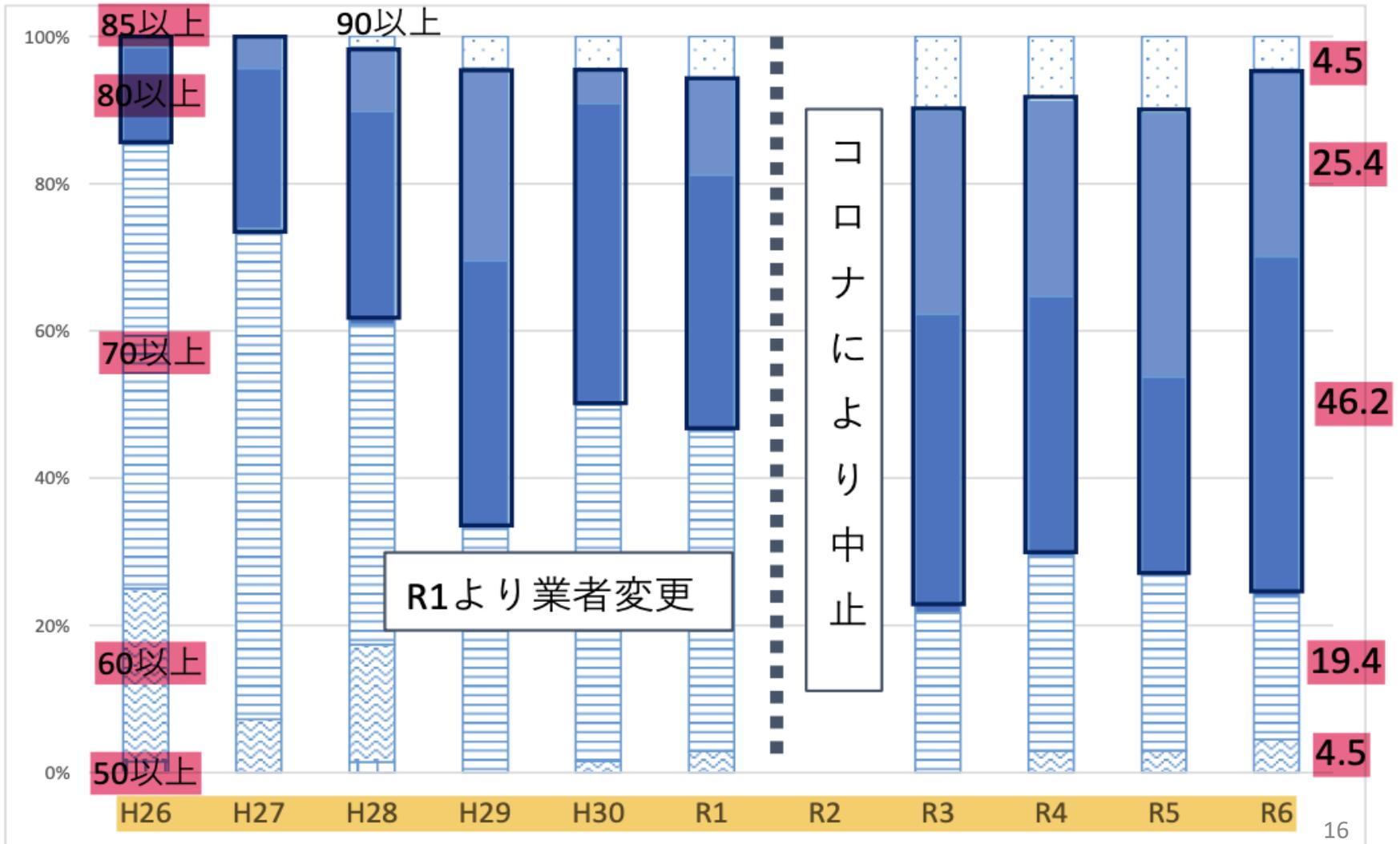
棒グラフ 国との差



-学力向上課題2-

学校間格差の拡大傾向

区学力調査における通過率の分布状況 小学校



足立区学力定着度調査 通過率 校数別

平成29年度～令和6年度

年度		95 以上	90 以上	85 以上	80 以上	75 以上	70 以上	65 以上	60 以上
6	小学校	1	2	17	31	8	5	1	2
5		1	6	24	18	12	4	1	1
4		1	5	18	24	15	3	2	
3			7	19	28	12	3		
1			4	9	24	15	15	2	
30			3	3	27	15	17		1
29			3	18	25	19	4		

R6 足立区学力調査 小学校 通過率 %

令和	学校名	2年		3年		4年		5年		6年	
		国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
6	A小学校	96	99	100	100	100	99	96	96	94	99
6	B小学校	61	71	71	63	74	65	64	42	69	49

公教育の在り方

-要因 I-

校長先生の思いの変化

施策内容変わらず10数年
学校を取り巻く社会の変化

コロナ禍 保護者対応 苦情 虐待 外国籍
不登校 いじめ LGBT 多様性 特別支援
学習指導要領 ICT DX タブレット 英語
働き方改革 若手教員の増加 指導力不足
心の病 正規教員の欠員 産休代替教員不足
講師不足 育児休業 パワハラ 教員不人気
採用選考倍率1.2倍 (小R6)
etc.

校長先生 学力向上への取組

学力向上で足立区の負の連鎖の解消 それが仕事
教員個々の共感 使命感 施策の効果的活用
校内研究の充実 授業力の向上 数値向上

学校による内容差、活用の差

- 学校経営計画 アクションプラン
- 学力調査結果報告書
- SP表分析に基づく授業改善プラン
- 教科指導専門員の活用
- 足立スタンダードの理解と推進
- キュビナ 活用状況 ● MIM

A小学校 サマースクール 10日間

7月 22日	7月 23日	7月 24日	7月 25日	7月 26日	7月 29日	7月 30日	7月 31日	8月1日	8月2日
2年・3年			4年・5年			6年生			
						1年生 0日			

通常サマースクール10日間実施校66校

校庭工事のため実施せず1校

AIドリル学校での実施校 全校 学校 44校 宿題 23校

-要因 2-

校長会
コロナ禍を経て

-要因 3-

教育委員会

教育委員会

校長会 校長先生に対して

足立区立校長としての役割

その理由 目標 ゴール 成果 評価

共感 共通行動

アナウンス コミュニケーション 不足

校長先生の気持ち

学力調査の数値を上げることがゴールではないはず
10年以上 一生懸命取り組んできて

これまでの努力で教育による貧困の連鎖は解消に向かっているのか

具体的な成果を見せてほしい。

いつまでやるのか？

提案Ⅰ 校長会 各校長との関係強化

提案Ⅰ

提案Ⅰ 校長会 各校長との関係強化

**教育委員会
リーダーシップ
ミッションステートメント
見える教育委員会**

具体的な目標の設定

共通理解 共通行動

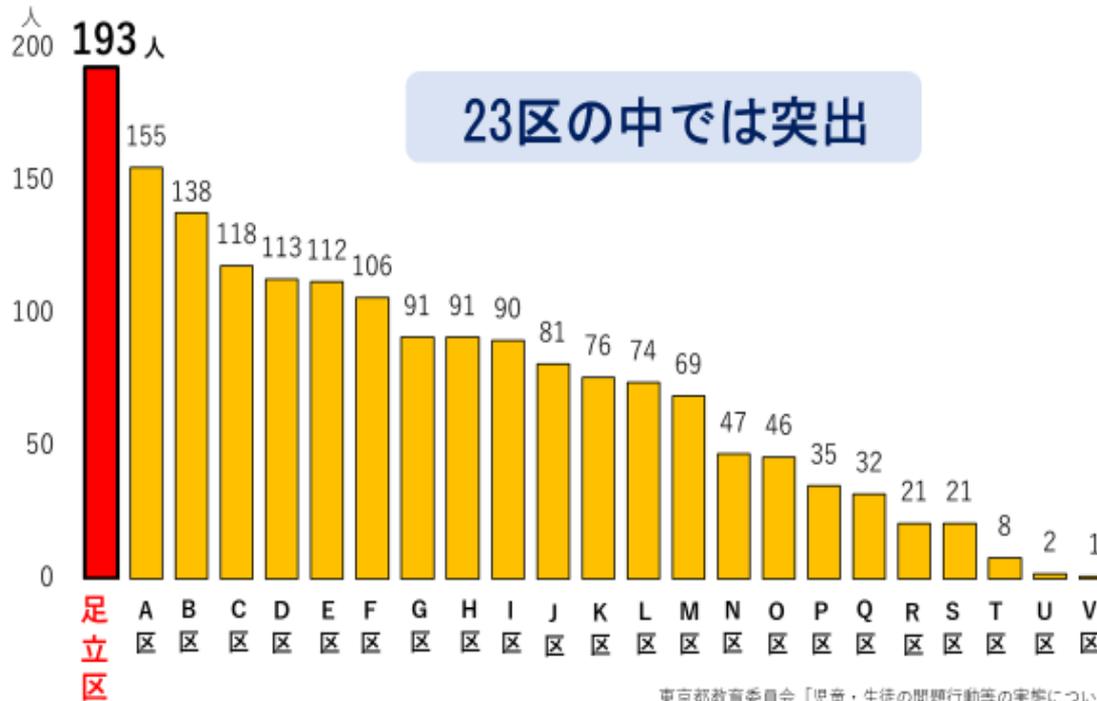
成果を見せていく

プレッシャーは絶対駄目

足立区にある高校の中途退学者 平成29年度

子どもを取り巻く現状

23区の都立高校中途退学者数(平成29年度)



東京都教育委員会「児童・生徒の問題行動等の実態について」
※各市町村別の公表は平成29年度で終了

子どもを取り巻く現状

区内高校進路状況 (令和3年度)

高校名		大学	短大	専門	就職	その他 (浪人含)
都立	江北高校	83.0%	1.0%	10.0%	1.0%	6.0%
	足立高校	51.9%	4.9%	28.0%	5.6%	9.7%
	足立西高校	38.9%	4.7%	34.2%	11.1%	11.1%
	足立新田高校	36.9%	5.5%	39.9%	10.7%	7.0%
	淵江高校	23.0%	0.0%	39.0%	26.0%	11.0%
	青井高校	15.7%	0.0%	43.3%	33.7%	7.3%
	足立東高校	4.3%	1.2%	32.7%	49.7%	12.1%
	足立工業高校	約30%				約70%
私立	足立学園高校	78.7%	0.0%	4.1%	0.5%	16.7%
	潤徳女子高校	約80%	HPに公開されていないため、進学者数より算出			

▶ **足立区平均 45.7%** (全国平均 56.6%) (23区平均 72.3% 23区中22位)

子どもを取り巻く現状

生活困難世帯の状況 ① (小学生)

① 世帯年収300万円未満の世帯

② 生活必需品の非所有世帯

子どもの生活において必要と思われる物品や
急な出費に備えた5万円以上の貯金がないなど

③ 水道・ガスなどのライフライン
等の支払い困難経験世帯

1つでも該当すると

足立区では **生活困難世帯** と定義

特徴

区立の小学校に在籍する1年生(有効回答数)
4,001名のうち「生活困難世帯」に該当した世帯は

✳️ **668**世帯 16.7%

令和3年度「子どもの健康・生活実態調査」結果より

- 1か月の**読書数**が**3冊以下**の小学生が多い
- **運動する習慣**がない小学生が多い
- 逆境を乗り越える力が低い
- ✳️ 保護者に**相談相手**がいると子どもの健康リスクが軽減する可能性がある
- ✳️ **運動・読書習慣**を身につけることや地域活動に積極的に参加することで逆境を乗り越える力を伸ばせる可能性がある

▶ **親以外の第三の大人との関わりが重要**

提案2 校長裁量 校長・学校をマネジメントする。

愛で動く

校長や教員が動く時 教師の喜び

上司の命より自分の気持ち

お金よりも

学校が、先生が、
福祉的な役割も担う

時間よりも子ども

子どものためならの惜しみない献身 努力

校長・学校を 動かすには マネージメントするには

教員を理解し、情熱をもって思いを語る

校長との関係強化

主体性 やりがい

主体性を引き出す鍵は

校長・学校を 動かすには マネージメントするには

任せて責任をもたせる

適正な評価 ほめる 認める

提案2

学力調査後の流れ 学力向上策

A層 B層の小学校
校長裁量

現在 全小学校 67校

一律に同じ学力向上策と手立て

A層の学校 D層の学校

公教育 学力保障



全校が通過率80を目指すべき

提案2 校長裁量

通過率80達成している学校
学力向上策
校長裁量

調査後の即時コピー 即時自校採点 即時SP表分析 再調査
パワーアップタイムの内容 補習の内容
サマースクール実施日数や内容 等

ウェイトを次のステップへ
個別最適な学びと協働的な学びの実現

通過率80に達していない学校

学力向上を対策を継続

これまでの施策を効果的に実施



十授業改善

提案2 校長裁量

**通過率80達していない学校
本年度 16校**

コンサルティング

校長レク&学校状況ヒア

これまでの施策 適切かつ効果的に実施

プレッシャーなき支援

安心感 協働のマインド

提案3

校長

学力調査への意識改革

足立区学力定着に関する総合調査

実施のねらい 目標

各校の学力状況把握

教育施策の効果検証

エビデンスして必要

結果 自校のみ通知

提案4

足立区学力定着に関する総合調査

CBT 導入に向けて

Computer Based Testing

学力定着推進課

可能性を模索している

単元テストのCBTも含めて
校長会連携 情報提供と共有

提案4 学力調査の内容

足立区学力定着に関する総合調査

毎年改善されている

知識・技能＋思考力・判断力・表現力等

調査目的・内容の共通理解

教育委員会・校長

意見交換

提案5

提案5 学力調査の調査時期

**調査時期を
4月下旬に**

**年度はじめの多忙感解消
転入管理職・教員に説明の時間確保**

提案 6

学校経営計画

学力向上アクションプランの内容変更

現在 数値目標 数値を上げるための手立て



通過率80以上	数値目標	授業改善のための手立て
通過率80未満	数値目標	定着のための手立て

提案7

提案7 指導主事の業務改善

学力定着推進課 指導主事

統括指導主事1 指導主事3

業務内容の見直し

本来業務

区民講座とか 大学連携より

102校ある学校現場へ 子どもたちのために

学校経営支援 学力向上 授業改善

指導主事 > 学力定着指導員

提案8

教科指導専門員の業務内容

例えば



教科指導 + 学習規律 + 生活規律

若手教員指導専門員へ

教科指導専門員の配置

拠点校配置 巡回指導

例えば



80未満学校に配置

提案9 授業改善1

提案9

次へのステップ

学校も学力定着推進課も ウェイトをここに

授業改善 強化！
足立スタンダード虎の巻
小中共に横展開

足立スタンダード「虎の巻」 学校が活用

足立スタンダード虎の巻

～「安心感」のある児童・生徒主体の授業づくりのポイント～

令和5年度 秋田県大仙市派遣教員

一人ひとりが

すすんで、
自信をもって学習する

「安心感」のある授業では
その結果

思考、判断、表現し、考えを上げたり、深めたり、
知識や技能を身に付けたりすることにつながる

安心感を生み出す「小学校・中学校で統一した授業の流れ」



こんな「悩み」は
ありませんか？

- 教師主導の教え込み
- 子供の活動が少ない
- 子供の笑顔が少ない
- 子供の反応が小さい

「授業を変えたい！
でもどうすれば…」

児童・生徒が生き生きと学習
に向かう姿を引き出す

ポイントが次のページに！
さらなる授業改善への一歩を踏み出そう！

「安心感」のある授業づくりの実際 ～小・中9年間の統一した1時間の授業の流れ～

導入

展開(自力解決)

展開(集団解決)

終末



自分たちで立てた「めあて」だから **考えたい!**

◎ポイント

- ア 子供たちが考えたくなる問いの提示
- イ 既習事項との比較を促す言葉掛け
- ウ 子供から「めあて」が出るまで待ち、学習内容を自分事化



自分でじっくり考えたから **伝えたい!**

◎ポイント

- ア 「見通し」を共有し、考える視点を明確化
- イ 個で考える時間を確保し、集団で考えを再構築
- ウ 机間指導中の肯定的な言葉掛け



自分で考えた言葉だから **理解が深まる!**

◎ポイント

- ア 「めあて」に正対した「まとめ」
- イ 実態に応じて、まとめの書き方を選択(学級全体、グループ、個人等)
- ウ 振り返りの視点を明確化

実践例① 小学校 算数科「小数のしくみとたし算、ひき算」(全13時間中の第8時)【ねらい:末尾のそろっていない小数の加法の計算の仕方を考え、理解する。】

めあての設定

- (1)前時と本時の問題文を比較
- (2)児童の言葉でめあてを設定
- (3)答えだけでなく、求め方を考えて説明することを確認



全体での検討

- (1)様々な考えを引き出すために、見通しをもつ時間を十分に確保
0.01を 位ごとに ひー算を もとに考える 分けて考える して考える
- (2)一人ひとりの考えを価値付け、計算の仕方を個で考える時間を確保
- (3)全体で計算の仕方を検討し、共有



付いた力の確かめ

- (1)児童の言葉で本時のまとめ
- (2)適応問題時は机間指導を行い、一人ひとりの状況を確認し、必要に応じて支援
- (3)振り返りをして、身に付いた力を確認



実践例② 中学校 理科「物質の姿と状態変化」(全6時間中の第2時)【ねらい:液体・固体間のロウの状態変化では、質量は変わらず、体積のみの変化であることを小学校での学習内容や既習事項をもとに考える。】

めあての設定

- (1)既習事項との比較からめあてを設定
小学校「水」 前時「エタノール」 本時「ロウ」
- (2)見通しを明確に提示
固体のロウの中央の凹みから、「液体から固体への状態変化時の体積と質量」に着目



集団での検討

- (1)考える視点【体積と質量の増減とその理由】を確認
- (2)個人の考えをもち寄り、グループで検討し、考えを再構築
- (3)ファシリテートに徹する机間指導
一人ひとりの肯定的な言葉掛け さまざまな考えの把握 支援



結果・まとめの共有

- (1)結果や気付きを発表
- (2)結果が異なっていたグループの原因を全体で話し合っ解決
- (3)生徒の言葉で本時のまとめを作り、全体で共有



「『安心感』
を生み出す
『マインド』」

児童・生徒主体
の授業づくりの
ポイント

各教科の
特性

提案9 授業改善2 重要 令和の日本型学校教育 足立区版

授業改善（改革） 強化2
本質的な学力の向上
学びに向かう力 人間性
個別最適な学びと協働的な学び

ICTの利活用

タブレット活用によって「子ども主体に」

ドリル学習からの、思考ツールとしての活用

足立スタンダードの流れの中の活用ではない。

デジタル学習基盤を前提にした学びのデザイン

東京学芸大学大学院
堀田龍也教授講演会
足立区にて

GIGAスクール構想と目指す学び
2024 5 20

社会の今

人口減少

税金の減少



データ デジタルで便利にする
国家的課題

社会の変化

キャッシュレス セルフレジ ○○ペイ GO TAXI

 ですら減少 JR東窓口 Uber 航空会社 予約

外食タブレット注文 QRコード注文

一斉授業からの転換

一斉授業減らして子どもに任せる
これからの社会 職種が入れ替わっていく
パッション意欲ないと駄目
先生がいないと学ばないは駄目
個別最適 学び感の変革
ひとりひとりが自分のペースで学ぶ
そういう時間をとる 視点を与える

「令和の日本型学校教育」を目指して 中央教育審議会
今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会

文科省 リーディングDX指定校 大仙市立中仙中学校 豊成小学校

LDX指定を受けて感じたこと

ICTの活用・・・> 授業観の変革に行き着く
今までの当たり前を疑う



個別最適な学び

インクルーシブ教育の視点から考えてみる

教員が全体に対して一斉に指導内容を話し、同じペース・同じ教材・指示された同じタイミングで話しあいながら子供達が学ぶという当たり前の学校風景でした。GIGAスクールで一人一台タブレットを得た今、こうした「共時性」の学校社会から子どもたちを解放し、もっと自分に合ったペース・環境で学び、自然なタイミングで協働しながら学ぶ授業を作っていけるのではないかと・・・と思います。

菅原アドバイザーより

GIGAによって「子ども主体」に変革していく

**小・中の授業を見ていて
かなり使えている方である**

- 子どもの姿からは、生徒一人ひとりが使えるようになっている。これまでの取り組みを続けていくべき。

**振り返りについて
質を上げていくべき**

- デジタルポートフォリオとしての振り返り ICTの活用により相互参照できる→さらに深い振り返りになる。
- さらに視点を明確に持たせる、見通しを持たせることで質の高い振り返りになるのでは？

**生徒の選択や判断の
機会を増やす**

- 自分で決めること、自分で選んでやる、自己決定の機会が増えることで、より主体的になっていく。
- そうした場面を意図的につくっていく。

**これまでの授業を立ち止
まって考える必要あり**

**持続可能で子どもの次
の意欲になる振り返り**

教える授業
↓
子どもが考える授業

令和の足立区型学校教育の構築

-すべての子どもたちのもてる力を向上させる-

- ・ 授業に参加できない児童・生徒
- ・ 不登校児童・生徒
- ・ 外国籍
- ・ 特別な配慮が必要な子

すべての児童・生徒に学力保障

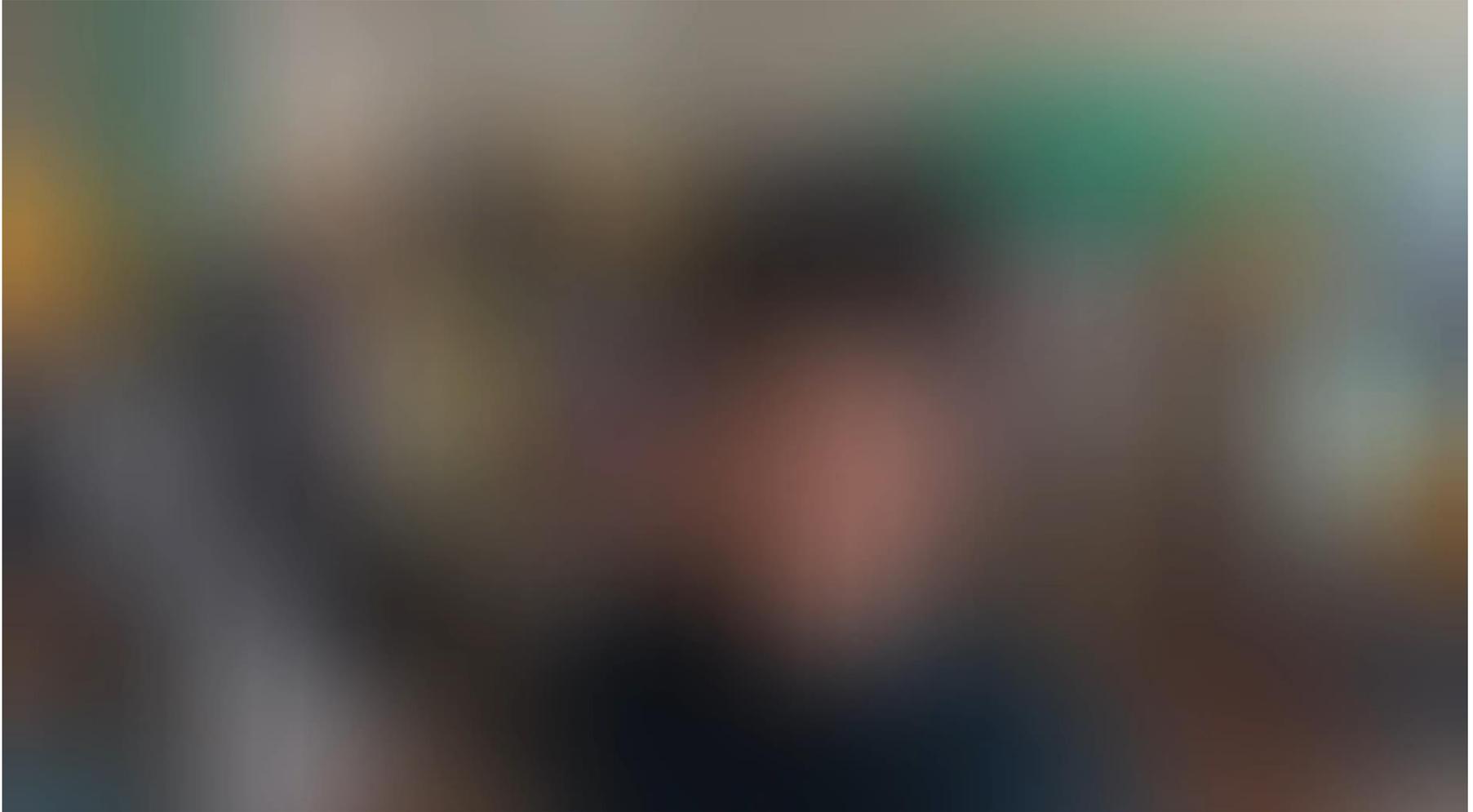
そのためのDX

デジタルトランスフォーメーション

喜びの共有



わかる授業 魅力のある授業
大仙市派遣教員授業
湊江小学校 2年生の声





ご清聴ありがとうございました。

令和6年10月31日

足立区教育委員会 学力定着推進課

学力定着指導員 半田 英雄

